

古島一雄 （幼名）新聞記者、政治家。慶應元年八月一日但馬國生れ、昭和二十七年五月二十六日没（八五—九五）。號一翁、一翁老人、古一念、古洲、古洲生。雑誌『日本人』、新聞『日本』、『萬朝報』等の記者を経り、明治四十四年衆議院議員（當選一回）。大義毅の側近として革新俱樂部を結成。大正十二年渡信政務次官、昭和七年貴族院議員。

著書『古島一雄清談』（毎日新聞社編、昭和二十六年二月五日毎日新聞社）、『一老政治家の回想』（昭和二十六年五月五日中央公論社）等。

